

TEISOTOYOKA NEWS

2017年4月号 VOL.98

 企画・発行：(株)テイソートヨカ 四日市技術研究所
 掲載している記事の無断使用を禁じます。

 〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 info@teisotoyoka.com

シロアリの飛翔する季節がきました

今年も桜が満開に咲き、そして散ってしまいました。毎年続くこの自然の営みですが、温度湿度とも高くなるこれからの時期、蚊やハチやシロアリなど、屋外に生息域をもつ生物も活発に活動する季節がやってきます。今月は、中部地区ではゴールデンウィークくらいに飛翔して、ビックリさせられるシロアリについてお知らせしたいと思います。

シロアリは身近にいる木材を食害する昆虫です。アリとは名前が付いていて、色こそ違いますが、大きさも女王のもとでコロニーを形成するといった特徴は似てはいますが、実は、あのゴキブリに近い仲間分類されていて、いわゆるアリ科の仲間ではありません。ちなみに「アリ」は諸説ありますが、アリク（歩く）、アリ（くびれ有）が語源で、漢字では規則正しく行儀がいいので「虫・義」とのことです。

この時期、大量の羽アリが出てきて、その様子を不快に思うのと同時に、数の多さに不安を感じて家が倒れるのではないかと心配することがあります。羽アリがすべてシロアリとは限りません。普通のアリにも羽を持ち、この時期飛翔するアリもいます。この区別は一般の方にも割と簡単にできます。

さて、シロアリによる食害が原因で家が倒壊したという報告は、あまり聞いたことがありませんが、M7.3を記録した阪神淡路大震災では、約20万戸の全半壊建物があり、その原因の中に「倒壊した住宅の80%がシロアリ、腐朽などによる被害を受けていた」「被害が認められなかった住宅では倒壊率が40%未満」との記載があります（日本建築学会近畿支部による表記参照）。住宅の建築年数やどの部分が食害にあったのか等との相関もあり、倒壊の主な原因が何であったかは別として、健康な柱や筋交いとそうでない場合と比較すれば、物理的に考えて何某かは影響しているかも知れません。

シロアリの仲間によく問題になるのは、ヤマトシロアリ・イエシロアリ・アメリカカンザイシロアリの3種類です。それぞれ生態に特徴があります。詳しくは「シロアリ_種類」などで検索をいただければ、たくさんHitしますのでご参照ください。弊社では、シロアリ防除サービスを提供しています。資格を持ったプロが調査を担当して適切な防除を提案します。また、施工後には作業内容や状況の詳細を記した施工報告書を提出し、保証書を発行して保証期間を確実にサポートします。



床下での薬剤散布処理



浴室で隙間を確認し薬剤を注入

シロアリ防除は、豊富な実績と経験があるテイソートヨカへご相談下さい。(M.K)



今月のオススメ インテリアタイプのムシポンポケットが新しくなりました。



ムシポンポケット Plus

- 紫外線反射特殊コーティングにより捕獲力UP
- 前面・側面のスリットにより全方位から誘因可能

捕虫器としてベストセラーのムシポンシリーズに新しい仲間が増えました。いずれも新型ランプの採用によりランプ寿命が前モデルの2倍の**1年間**となりました。

効果的に使用するには1.5m位で誘虫灯の光が外にもれない場所が適切です。



ムシポンポケット3

- 前モデルムシポンポケット2で好評だったデザインを継承

自然の復元力 Vol. 77

私ごとですが、3月29～30日に淡路島へ旅行し、その時にモンシロチョウ1匹とモンキチョウ2匹が飛んでいるのを見ました。今年の初見です。現場では数日前からこれらのシロチョウの飛翔がみられていると土地の人が教えてくれました。モンシロチョウの餌となるアブラナ科の植物”菜の花”が満開でした。桜(ソメイヨシノ)はまだ開花してないように見受けました。気象庁のアナウンスでは関東以西の都市部では開花は3月15日以降で、見ごろは4月3日から5日ごろでした。桜の開花時期以降は、雨が良く降り、気温も低かったせいか、4月中旬ごろまで桜の花が散らずに残りました。私も身近に咲く桜の花を、例年になく長期間桜を楽しむことができました。(本当に桜はきれいですね。)

季節的におこる自然界の動植物が示す諸現象の時間的変化およびその気候あるいは気象との関連を研究する学問”生物季節学：フェノロジー”があります。例えば、植物については、発芽、開芽(芽ぶき)、開花、紅葉、落葉などの時期の調査データをもとにして、それぞれの地方の気候の比較を行うという学問分野です。地球温暖化による生物への影響を解析する学問として注目されています。この学問の対象は植物だけでなく、昆虫や、植物と昆虫との関係についても種々研究が進められ、成果が注目されています。昆虫については、初見日、初鳴日、羽化日、産卵期、脱出期などが、出現期として調べられています。脱出とは、越冬場所や寄主からの脱出などを意味しますが、必ずしも成虫ばかりか、幼虫の場合もあります。植食性昆虫の中でも植物体に固着している昆虫の場合は、羽化日を出現期として記録されています。

ところで、地球温暖化による生物への影響については、桜の開花時期が最も注目されています。1月から4月までの気温が暖かければ暖かいほど早く開花し、寒いと遅く開花します。しかし、地球の気温は常に上昇しているのではなく、暖かい年と寒い年を繰り返しながら、徐々に暖かくなっているのが実態です。日本各地の1961年～1965年と2001～2005年との平均開花日を比較してみると鹿児島市では1日、福岡市では11日、広島市では8日、大阪市では10日、名古屋市では10日、東京都(千代田区)では9日、仙台市では6日、札幌市では3日10年間で平均開花日が早まっています。この間の単純平均気温は約1.6℃上昇が見られることから、地球温暖化と桜の開花時期がシンクロしているのが分かります。

一方、モンシロチョウの場合、初見日をみると、ここ10年間で、鹿児島市で2日間、福岡市で5日間、広島市で19日間、大阪市で8日間、仙台市で7日間、札幌市で24日も遅れが見られます。桜の開花日が早まるのに対し、遅延しています。桜の開花時期とモンシロチョウの初見日がこのように異なる動きを示すのは何故か、今のところ残念ですが説明がついておりません。なお、昆虫の初見日や初鳴日は昆虫種によって様々であることも分かっています。クマゼミ、アブラゼミでは出現期の気温に高い正の相関がみられ、初見日および初鳴日は早期化しています。一方、ニイニイゼミ、ヒグラシ、アキアカネなどのそれらは、モンシロチョウと同様に遅延がみられます。地球温暖化に対する生物への影響を明らかにする課題は多く、難題です。(Sin)
※参考図書：桐谷圭治・湯川純一編(2010)「地球温暖化と昆虫」全国農村教育協会

今月のオススメ STRONTEC：コンパクトで設置場所を選ばない室内用の飛翔昆虫防除器です



(交換用カートリッジ)

微粒子状の薬剤噴霧で室内の飛翔昆虫の防除を自動で行なう防除機器です。ピレスロイド系の薬剤によって飛翔昆虫に対して即効性がありつつも薬剤の残留は少なく、煙も出ないのでオフィスや飲食店の客席にも安心してご使用いただけます。単三乾電池2本の電池駆動で最長3ヶ月使用でき、高さ23.5cm×奥行4.5cm×幅6cmとテレビのリモコンサイズの本体は電池と薬剤を含めても230gと軽く、両面テープでも壁面に十分に設置が可能です。



Eco Friendly Pest Management
自然にやさしい総合的有害生物管理
株式会社テイソートヨカ

IPM・コンサルティング・異物同定分析

有害生物(ネズミ、ゴキブリ等)管理・ノラバト飛来防止施工

〈URL〉 <http://www.teisotoyoka.com> 〈E-mail〉 info-teiso@teisotoyoka.com

本社・名古屋東営業所	〒468-0045	名古屋市天白区野並2丁目334番地の2	TEL 052-891-8311	FAX 052-891-8440
名古屋西営業所	〒453-0818	名古屋市中村区千成通4丁目18番地	TEL 052-482-6591	FAX 052-482-8778
三重営業所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜4005番地1	TEL 059-345-3571	FAX 059-345-3572
岐阜営業所	〒501-6264	岐阜県羽島市小熊町島4丁目61番	TEL 058-392-6454	FAX 058-392-6407
北陸営業所	〒920-0356	石川県金沢市専光寺町47番地1	TEL 076-266-6474	FAX 076-267-6480
新潟営業所	〒950-0993	新潟県新潟市中央区上所中2丁目1番7号	TEL 025-283-6474	FAX 025-283-6497
四日市技術研究所	〒510-0863	三重県四日市市大字塩浜4005番地1	TEL 059-325-6431	FAX 059-325-6430